

(様式3)目的設定表 (令和 2 年度) 予算区分:通常 要求区分:令和2年度4月補正予算 確定日(令和 2 年 4 月 16 日)

事業コード		政策コード	3	政策名	新時代を勝ち抜く攻めの農林水産戦略						
事業名	比内地鶏需要回復緊急対策事業	施策コード	2	施策名	複合型生産構造への転換の加速化						
		指標コード	5	施策目標(指標)名	秋田牛や比内地鶏など秋田ブランドによる畜産振興						
部局名	農林水産部	課室名	畜産振興課	班名	調整・畜政・経済班	(tel)	1806	担当課長名	畠山英男	担当者名	力丸宗弘
事業の内容											
事業年度 R2 年度～ R2 年度											

1. 事業立案の背景(施策目標の達成のために今なぜこの事業が必要なのか)
 比内地鶏は令和元年に551千羽が生産されるなど、本県の重要な作目となっているが、外食向け出荷が主体となっていることから、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う外食需要の大きな落ち込みにより、在庫が急増している。
 比内地鶏は他の肉用鶏と比較して飼育期間が長いことから生産コストが高く、価格の引き下げが困難であることから、産地を維持していくためには、緊急的な流通拡大対策とともに、収束後のV字回復に向けた下地作りが喫緊の課題となっている。

2. 住民ニーズの状況
 ①ニーズを把握した対象
 受益者 一般県民 (時期: R 2 年 3 月)
 ②ニーズ把握の方法
 アンケート調査 各種委員会及び審議会 ヒアリング インターネット
 その他の手法 (具体的に)
 ③ニーズの具体的内容
 急増している在庫を平年の在庫量まで戻すために、学校給食や社食、中食等での消費拡大に向けた支援が食鳥処理業者や生産者から求められている。

◎把握していない場合の理由及び今後の方針
 ①理由
 ②今後の方針

3. 事業目的(どういう状態にしたいのか)
 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により増加した比内地鶏の在庫を、発生以前の水準まで戻す。
 (重点施策推進方針との関係) 重点事業として要望 その他の事業として要望

4. 目的達成のための方法
 ①事業の実施主体 県、比内地鶏流通業者
 ②事業の対象者・団体 県内小中学校、県内高齢者施設、比内地鶏販売事業者等
 ③達成のための手段
 ・比内地鶏と通常使用されている鶏肉との価格差を補てんし、県内の学校給食や高齢者施設における利用を促進する。
 ・緊急的に行う割引販売に対して支援し、社食、中食等事業者への利用を促進する(通常の比内地鶏価格から値下げした差額の1/2を補助)。

④比較した代替手段及び選択した手段の有効性
 ・新型コロナウイルス感染症の拡大により、需要の早期回復は望めず、外食、特に夜間営業の飲食店での利用拡大は、自粛が続く情勢下では困難である。
 ・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、不特定多数の人の集いを生じない場所での消費拡大が重要となるが、ある程度まとまった量を消費するためには、個人向けよりも学校給食や社食、中食、小売店等での利用促進が効果的である。

5. 事業の全体計画及び財源 単位(千円)									
順位	事業内訳	左の説明	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	全体(最終)計画
01	学校給食等利用促進事業	学校給食や高齢者施設等での消費拡大を図る。	29,196						29,196
02	社食・中食等利用促進事業	不特定多数の集いを生じない社食、中食等での消費拡大を図る。	26,000						26,000
03									
04									
05									
06									
財源内訳		左の説明							
国庫補助金									
県債									
その他									
一般財源			55,196						55,196

6. 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

事業の期待される成果 新型コロナウイルス感染症の影響により増加した比内地鶏の在庫の解消

指標名	比内地鶏を利用した学校等施設数	指標の種類
指標式	比内地鶏を利用した学校等施設数	<input type="radio"/> 成果指標 <input checked="" type="radio"/> 業績指標

①年度別の目標値(見込まれる成果による指標)

指標	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	最終年度
目標a	250							250
実績b			②データ等の出典					
東北			畜産振興課調べ					
全国								

③把握する時期 当該年度中 月 翌年度 月 翌々年度 月

指標名	比内地鶏販売数量(t)	指標の種類
指標式	事業を活用し、販売した比内地鶏数量(t)	<input type="radio"/> 成果指標 <input checked="" type="radio"/> 業績指標

①年度別の目標値(見込まれる成果による指標)

指標	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	最終年度
目標a	51							51
実績b			②データ等の出典					
東北			畜産振興課調べ					
全国								

③把握する時期 当該年度中 月 翌年度 月 翌々年度 月

◎指標を設定することができない場合の効果の把握方法

- ①指標を設定することが出来ない理由
-
- ②見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)
-

事業の必要性

現状の課題及び施策目的に照らした事業の必要性
 急増している在庫を解消するためには、これまでの外食向けとは異なる学校給食や社食、中食等で消費拡大を図る必要がある。

住民ニーズに照らした事業の必要性
 外食需要の落ち込みによる在庫量増加が続くと、減産など比内地鶏の生産継続へ大きな影響が生じることから、食鳥処理業者や生産者から消費拡大に向けた支援を強く要望されている。

事業の県関与の必要性
 法令・条例上の義務 内部管理事務 県でなければ実施できないも
 民間・市町村で実施可能であるが、県が関与する必要性が認められるもの
 比内地鶏は単なる農畜産物の一つに留まることなく、食品産業、観光業など多くの産業や雇用と結びついている本県を代表するブランドであるため、県の主導により比内地鶏ブランドを維持・発展させていく必要がある。

政策評価委員会意見

重点事業の適合及び指標・目標値の適合性判定

○ 重点事業 ○ その他